2025 No. 749

學院大學学猴

香もほのに、西日のひかり庭の面にかり乾す藁の あたゝかくさす 『海やまのあひだ』 迢空

焚きあまし」

国学院大学

令和7年10月20日(月) 定期号(毎月20日発行) 1部20円

[発行]国学院大学 [編集]総合企画部広報課 〒150-8440 東京都渋谷区東四丁目10-28 [電話]03(5466)0130 [FAX]03(5466)0528

創立記念祭 関係物故者慰霊祭 午前11時30分 百周年記念館記念講堂



現在、横浜市立上寺尾小

日々の頑張りを生む活力だ 在を感じられることが、 同じ大学で学んだ仲間の存 ても活躍。年代は違っても、 市学校院友会の副会長とし

くれた」と振り返る。予測闲 大切にし、常に寄り添って 現在でも力となっている。 ゼミナールでは「学級づく を身に付ける場だと渡瀬さ ながる」ことで、恊働の力 難な現代社会を生きるには ったが、大学は学生の声を がいない環境には不安もあ だ。「新設学部で頼れる先輩 人間開発学部の第1期生 れている渡瀬将二郎さんは り」を研究し、その学びが んは強調する。大学時代の る。学校は子ども同士が「つ 他者との協働が不可欠であ 多忙な職務の傍ら、横浜

と稲刈りを行った参加者ら

彬子女王殿下(前列左から3人目)

はる かすも 0)

声と沈黙をめぐって』(文学通信、2024 屋の隅から係の人が飛んでくる▼今村信降 がその声がいつの間にか大きくなると、部 を語り合った経験もあるかもしれない。だ れ立って出かけた誰かと、ひそひそと感想 声が漏れた経験をした人もいるだろう。 前提とする近代的なシステムである」とあ ではなく、共有の財として分けもつことを 年)をひもとくと、「美術館等のミュージア って逸品に出会ったとき思わず、「ほう」 ムは、コレクションを私的な所有物として 『「お静かに!」の文化史(ミュージアムの) る。私たちは私的な感性と公の領域のあ 芸術の秋。美術館や博物館に出かけてい

逸品し 描かれ いるの のあいだでけいれんしている……などと表ず声を漏らす私たちの体は、近代と前近代 物が含んでいた声や音の伝統がびっしりと たことさえ読み取れるという。「視覚に基づ 生 近代日本美術の鑑賞と批評』(同、20 だで黙ったり、声に出したりを繰り返して この秋はどこかのミュージアムに出かけ、 現したら、いいすぎだろうか。ともあれ、 こびりついている」▼ミュージアムで思わ いう近代的装置の船底に、近代以前の見世 く知を目指して出航しようとする博覧会と 前近代的な「見世物」の身体性が流れ込む。 25年)はさらに強烈だ。明治期に入って 「博覧会」が催されるようになるも、当初は こともに自他の態度を鑑賞してみるの た浮世絵からは「談笑の場」であっ だ▼続編である『「お静かに!」の誕

彬子女王殿下とともに コメ作りワークショップで日本ウ 彬子女王殿下が総裁を務 学生らが稲 文化に触れる 協力農家の方々や院友の 川

戦前から中等教育を中心

められる一般社団法人心游 市北区の田んぼで行われ、 舎が主催している「新潟コ 稲刈りが、10月5日に新潟 メ作りワークショップ」の

ど約6人が参加した。 め、協力農家、地元住民な 反(本学卒業生) らをはじ 在学生11人、教員1人、院 このワークショップは、

令和6 (2024) 年、

ちは、はじめての作業に苦 ぼへ集合。協力農家の方か まぎもん」に着替え、 田植えや草刈りを体験した。 戦する様子も見られ り取りに挑戦した。 説明を受けた後、実際に刈 ら稲の刈り取り方について 統的な農作業服である「や 力を受けながら学生 いる。今年も地元農家の協 機会として毎年実施されて 日本の文化と歴史に触れる コメ作りの体験を通して、 当日、参加学生たちは伝 たちが たが、 学生た 田ん た。 んぼに残った落ち穂を拾っ

みを感じた」「地域の文化や して参加者全員で振り返り へ奉納される予定。 りも貴重な体験になった」 日本の食を支える作業の重 を実施。学生からは「初めて 大國魂神社(東京都府中市) と感想があがった。 の稲刈りは大変だったが、 人との温かい交流が、何よ 収穫されたコメは今後、 稲刈り後は公民館に移動

け」と呼ばれる、わらを使 天日干しのため「はさ」と って束ねる作業でまとめ、 言を受けながら作業を進 刈り取った稲を「まる

刈りを終えると、最後に田 参加者全員で約2時間の稲 呼ばれる木組みの柵にかけ んぼに足を取られながらも、 前日の雨でぬかるんだ田

た。

主な内容 2面/大蔵流狂言 山本東次郎師「狂言の会」 3面/「指定寄付金」ご芳名 4・5面/子ども同士をつなぐ学級づくり より良い社会に変えていく協働の力を育む 6面/人間開発学会第17回大会 研究成果と知見を共有

三つの演目が披露された。上演後には東次郎師から

大蔵流狂言 山本東次郎師「狂言の会」

人間の「愚かしさ」への限りない愛情を「引き算」で描く伝統の芸



音曲聟を披露する山本東次郎師(右)

避ける「引き算」の文化を守っているのが狂言だと

ある礼節と、謙虚であることにより不必要な摩擦を た人間賛歌だ」と説明した。また現代人が失いつつ かしさを描いているが、決して駄目だとは言わない

上演後の解説では、東次郎師が「狂言は人間の愚

人生は楽しい、生きる価値があるという思いを込め

している。それで言葉が現代風にも聞こえるのでは ないか」と答えると、満員の客席に大きな共感を呼 やすいのは現代風に変えているからかという問いに は、東次郎師が「曾祖父が作った台本のまま変えて どに関する質問が寄せられた。舞台の言葉が分かり 観客との質疑応答では足袋の色や面の持つ意味な 『初めてしゃべる』という心構えを

川宮記念ホールで開催さ日、渋谷キャンパスの有栖

国際交流歓迎会が9月26

んだ。最後に司会の学生から東次郎師に花束が贈ら

ンティア)、教職員、学寮関

フレンドシップファ

と互いに学び合い、

留学生らは在学生や教職員

Pアシスタント

(学生ボラ

をサポートするK-STE EP留学生計14人と留学生 期から本学で学ぶK-ST れ、大学院交換留学生や後

10日にたまプラーザキャンパスで開催された。26回36卒・69期文)らによる「狂言の会」が10月9日、 目となる今回は両日合わせて約730人が参加した。 生約400人を招き、 たまプラーザキャンパス近隣の小学校4校から6年 と、人間国宝で院友の大蔵流狂言・山本東次郎師(昭 9日は午前と午後の2部構成で実施。午前の部は、 日本の伝統芸能である狂言に親しんでもらおう 小学校の国語の教科書にも掲 伏」を上演した。

演目の解説が行われたのち、

小舞を披露すると会場

国際交流歓迎会を開催

10日は第一演目とは拍手に包まれた。 ける。 **冠者(アド)が、カタツムリが何かを知らず、やぶ** で寝ていたシテの山伏をそれと間違える。カタツム とされるカタツムリを探してこいと命じられた太郎 う舅との掛け合いが見どころだ。滑稽さの中に深. 戸惑いつつ、恥をかかせまいと奇妙な作法に付き合 務める「音曲智」が披露された。シテの舅が世間知 る物語。最後の「蝸牛」ではアドの主から長寿の薬 てきたアドの田舎者をだまそうとして逆に翻弄され らずのアド(脇役)の聟から聟入りのあいさつを受 八情がにじみ、客席に温かな笑いが広がった。 続く「仏師」はシテのすっぱ(詐欺師)が都に出 でたらめな作法を教えられた聟の振る舞いに 演目として東次郎師がシテ(主役)

返すユーモラスな囃子物に客席も大いに盛り上がっ リのふりをした山伏が『でんでんむしむし』と繰り



た。続いて留学生が日本 と交流を深めながら、本 と、参加者たちは拍手で ていることなどを話す でほしい」とあいさつし ンドシップファミリー

歓迎の意を表した=写 本について興味を持っ 学で学びたいことや日 語で自己紹介を行い、本 学で多くのことを学ん う。支援する学生やフレ ができ、大変うれしく思

Coffee Hour」 やフィール 始和やかな雰囲気の中で交 を楽しみながら歓談し、終 who」というゲームや食事 な交流イベントを通して、 ドトリップなどのさまざま 今後は [I know a person 真。その後、お題の特徴 にあてはまる人を探す の留学生を迎えること 教授)が登壇し、「多く 交流推進部長(経済学部 冒頭、田原裕子・国際 [International

「蔦屋重三郎と江戸のベストセラー」講演会を開催

~中村正明教授が解説、渋谷区との地域連携事業

最後に中村教授は「今も昔も、



で、ぜひ手に されているの されているの は が渋谷区の図 る。 広 がってい面白い世界が 時代の文学にがある。江戸 がある。江戸がある。江戸がある。江戸 取って い」と呼び ほ

館利用者らおよそ40人が聴講した=写真。 ンルにも影響を与え、その流れが後世にまで ス力にたけた人物だったかを解説した。 後半は、江戸で出版された娯楽性の 国学院大学と渋谷区立図書館との連携事業 に焦点を当てた。同作品は「江戸 文学部の中村正明教授が講師を務め、

ベストセラー」として多くの続編や模倣作を 元・蔦屋重三郎がいかに企画力やプロデュ や儒書などを扱う「書物問屋」と、娯楽書を み物「江戸戯作」、特に滑稽本『東海道中膝栗 マの主人公として知られる「地本問屋」の 屋重三郎と江戸のベストセラー」が開催され 講演で中村教授は、江戸時代の本屋が仏書 続いて、現在NHKで放映中の大河ドラ 「地本問屋」に大別されていたことを説 川柳や歌舞伎などさまざまなジャ 月3日、中央図書館で講演会「蔦 高い 版

合同企業セミナーを開催



合同企業セミナーの初回が、10月8日に渋谷キ ャンパスで開催された=写真。本催しは学部生お よび院生(卒業・修了年次を除く)を対象に、大 手・優良企業約60社の採用担当者から業界や会 社の説明を直接聞き、理解を深めることを目的に、 毎年実施している。

会場では企業の紹介のほか、既に内定を得た在 学生が、自身の就職活動について語る場面もあり、 参加した学生からは、「企業の理解が進んでよか った」「もっと多くの企業の話を聞きたい」などの 感想があがった。

若木育成会が支部長研修会を開催

若木育成会全国支部長研修会と情報交換会が9 月27日、渋谷キャンパスで開催された。

研修会では、仙北谷穂高大学事務局長が「各支 部での活動を通し、本学の教育・研究活動への引 き続きのご支援をお願いしたい」とあいさつ。校 友課により、若木育成会の年間スケジュールや、 キャンパス見学会の説明、来年度の支部の集いの 実施マニュアルをもとにした研修が行われた。

情報交換会は有栖川宮記念ホールで行われ、半 田りえ子・若木育成会会長のあいさつの後、支部 長たちがそれぞれの支部活動や学生たちの日常に ついて話し合い、交流を深めた。

9月卒業·修了 学部65人、大学院7人



国学院大学の令和7年度9月卒業生・修了生が9 月30日付で確定し、学部65人、大学院博士前期課 程7人が卒業・修了を迎えた。

9月24日に渋谷キャンパスで行われた文学部卒 業証書授与式では、谷口雅博・文学部長(同教授) が祝辞を述べ、卒業生一人一人に証書を手渡した =写真。

大学院9月修了学位記授与式も同日に渋谷キャ ンパスで行われた。佐藤長門・大学院委員長(文 学部教授)による祝辞の後、修了生一人一人に対 して、指導教員から論文講評が述べられ、併せて 今後の進路に向けてはなむけの言葉が贈られた。

卒業期は134期となり、学部の学位記授与式は 令和8年3月22日、大学院は3月21日に開催される 予定。所属別の卒業生・修了生数は次の通り。

○大学院▶博士前期課程◇文学研究科▷文学専攻 3人◇法学研究科▷法律学専攻1人◇経済学研究 科 > 経済学専攻3人

◎学部▶文学部16人▷哲学科1人▷史学科8人▷ 日本文学科4人▷中国文学科2人▷外国語文化学 科1人▶経済学部16人▷経済学科7人▷経営学科 9人▶法学部15人▷法律専攻14人▷政治専攻1人 ·神道文化学部 ▷神道文化学科7人 ▶ 人間開発学 部11人▷初等教育学科2人▷健康体育学科6人▷ 子ども支援学科3人

教職員人事

◆大学事務局◇嘱託▷板屋凜(教学事務部教育開 発推進機構事務課) (令和7年10月1日付)

【退職】

○自己都合

◆大学事務局◇専任▷細井堯之(総務部人事課主 (令和7年9月30日付)

▷鈴木綾華(たまプラーザ事務部たまプラーザ事 (令和7年8月31日付) 務課書記補)

◎期間満了

◆大学事務局◇嘱託▷曽根田勉(たまプラーザ事 務部たまプラーザ事務課) (令和7年9月30日付)

経済学部「E-Tour」 高校生が一日大学生活を体験



経済学会学生委員会主催の高校生向け体験企画 「E-Tour」が9月20日、渋谷キャンパスで開催さ れた。この企画は、高校生が模擬授業やキャンパ スツアーを通し経済学部生の一日を疑似体験する 催しで、学生委員が毎年企画・運営を担当。今回 は約30人が参加した。まず芳賀英明・経済学部准 教授が学部の特色を説明。その後、学生が進行役 を務め、学科紹介、キャンパスツアー、模擬授業 を実施した**=写真**。キャンパスツアーではクイズ に挑戦しながら巡り、模擬授業はアクティブラー ニング形式のグループワークを行うなど、一日大 学生活を楽しんだ。

ミュージアムトークを開催



国学院大学博物館特別展「アイヌモシリーアイ ヌの世界と多様な文化―」の関連企画として、ミ ュージアムトークが9月20日に開催され、会場に は100人以上の来館者が集まり、熱心に耳を傾け

北海道博物館アイヌ民族文化研究センター長の 佐々木利和氏(昭51卒・84期文2)が「描かれた アイヌの人々」をテーマに講演を行った=写真。 佐々木氏は、アイヌ文化や歴史について資料を交 え簡潔に説明し、アイヌ文化を題材とした多様な 絵画資料を解説した。アイヌ絵を見る際には、「描 いた人が誰で、どのような状況で描いたか」を正 しく把握することが、アイヌ文化を理解するうえ で重要だと述べた(同展は9月23日に終了)。

【お詫びと訂正】

国学院大学学報748号3面「花堂靖仁名誉教 授 逝去」の記事における退職理由について誤 りがありました。お詫び申し上げますととも に、以下のとおり訂正いたします。

「花堂靖仁名誉教授 逝去」2段落5行目 誤 ~平成15年3月定年により退職。 正 ~平成15年3月自己都合により退職。

「指定寄付金」

学校法人国学院大学では、私学としての公共性と独自性のある教育研 究体制を確立するため、広くご寄付を募っています。

令和7(2025) 年4月から9月まで、**別表**の通り、多方面の方々からご寄 付を賜りました。ここに、ご芳名を掲載し、重ねて深甚の謝意を表します。 本法人に対するご寄付は、専用用紙による申し込みとインターネット 上でクレジットカード決済による申し込みが可能です。詳細は**6面**をご (総務部総務課)

令和7年度 指定寄付者一覧(**敬称略**)

令和7年4月1日~9月30日(単位:円)

### 辞述	卫仙/ 牛皮 拍止奇门台一 見 磁	际略)	日~9月30	日(単位:円)
### 辞述	寄付者	寄付目的	寄付金額	収納日
### 12	テルヤ電機株式会社代表取締役社長 江川 和宏	学生・生徒等の活動支援(アルティメット部)		
一般		学生・生徒等の活動支援(森木会)	,	
照字院大学生活局同語合代表定事 手塚 使一 施之・監督先来支援(神郎造首工事) 300,000 金利2年4月11日 5,000 金利2年4月11日 5,000 金利2年5月12日 5,000 金利2年5月21日 5,000 金月2年5月21日 5,000 金月24日21日 5,000 金月2			50,000	令和7年4月 7日
安立 - 生徒等の活動支援(ス和山中学・高等学的 5,000 令和744月11日	廣瀨 清	31113 3111 3211	50,000	令和7年4月 8日
第2	国学院大学生活協同組合代表理事 手塚 俊一	施設・設備充実支援(神殿造替工事)	300,000	令和7年4月11日
照名 学生・生徒等の活動支援(反乱申呼・高等学的) 5,000 金利7/86月75日 5,000 分析7/86月75日 5,000 分析7/8			5,000	令和7年4月11日
#1			5,000	令和7年5月15日
### 1	医名			令和7年6月17日
### 1 期間			-,	
## 1				
東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京				
第本 型江子 学生・生徒等の異学基金 5,000 6利7年5月22日				
デェー・	栗原 彰	学生・生徒等の活動支援 (陸上競技部)		
済水 担江子 学生・生徒等の奨学基金 5.000 会和7年67253 5.000 会和7年67263 5.000 会和7年67263 5.000 会和7年8月22E 4.000 会和7年8月22E 4.000 会和7年6月22E 会和7年6月23E 2.000 会和7年6月22E 会和7年6月23E 2.000 会和7年6月23E 会和7年6月23E 2.000 会和7年7月23E 会和7年7月23E 会和7年7月23E 公の 会和7年7月23E 会和7年7月23E 会和7年7月23E 会和7年7月23E 会和7年7月23E 会和7年7月23E 会和7年7月25E 会和7年7月25E <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>				
安生・生産等の選挙器会 5,000			-	
5,000 会和7年月月2日 5,000 6,00	清水 理汀子	学生・生徒等の奨学基金	-	
開稿 淳	7507	1		
開稿 淳				
開稿 浮				
対象 学生・生徒等の活動支援(様式野球部)			-	
おいまた 1000				
中部 中部 中部 中部 中部 中部 中部 中部	關橋 淳	学生・生徒等の活動支援 (硬式野球部)		
专編 初 学生・生徒等の選挙基金 5,000 令和7年5月32日 合件 干枝子 学生・生徒等の選挙基金 6900 令和7年5月9日 日件 干枝子 学生・生徒等の選挙基金 400,000 令和7年5月3日 上のの 今和7年5月32日 2,000 令和7年5月32日 上のの 今和7年5月32日 2,000 今和7年5月32日 東田 将弘 学生・生徒等の運動支援(便工サーボト水上スキー部) 10,000 令和7年5月32日 一般財団法人国学院大学院友会会長 吉田 茂穂 学生・生徒等の運動支援(日本日本記念事業 神殿竣功) 500,000 令和7年5月30日 一般財団法人国学院大学院友会会長 吉田 茂穂 教育・研究展現支援(学術スメーン振興資金) 1,000,000 令和7年5月30日 一般財団法人国学院大学院友会会長 吉田 茂穂 教育・研究展現支援(学術スメーン振興資金) 1,000,000 令和7年5月30日 一般財団法人国学院大学院友会会長 吉田 茂穂 教育・研究展現支援(学術スメーン振興資金) 1,000,000 令和7年5月30日 一般財団法人国学院大学院友会会長 吉田 茂穂 教育・研究展現支援(学術スメーンボーラルランスト) 100,000 令和7年5月30日 一般財団法人国学院大学院友会会長 吉田 茂穂 学生・生徒等の選挙を援 (第120回転支援) 100,000 令和7年5月32日 中田 豊久 施設・生徒等の運営を選 (第120回転支援) 100,000 会和7年5月33日 中田 豊太 学生・生徒等の選挙金 100,000 会和7年5月32日 会社7年5月32日 神田 高 大学 生生・生徒等の選挙基金 100,000 会和7年6月33日 会社7年6月32日			-	
寺圃 将 学生・生徒等の異学基金 5,000 会儿7年5月 9日 日柱 千枝子 学生・生徒等の異学基金(国学院大学比海道短期大学部) 5,000 会儿7年5月 9日 日井 千枝子 学生・生徒等の活動支援(便工野球部・陸上競技部) 400,000 令和7年5月 9日 日中 郁子 教育・研究振興支援 2,000 会別7年5月 2日 2,000 会別7年5月 2日 2,000 会別7年5月 2日 2,000 会別7年5月 2日 2,000 会別7年5月 2日 2,000 会別7年5月 2日 2,000 会別7年5月 3日 学生・生徒等の選学基金 1,000,000 会別7年5月 3日 一般財団法人国学院大学院友会会長 吉田 茂穂 教育・研究振興支援(140周年記念事業 神殿竣功) 500,000 会別7年5月 3日 野田 豊久 第2年・生徒等の選学基金 100,000 会別7年5月 3日 会別7年5月 3日 会別7年5月 3日 財田 豊久 施設・設備充実支援(140周年記念事業 神殿竣功) 500,000 会別7年5月 3日				
日午 下枝子 学生・生徒等の選挙基金 (国学院大学上海道短順大学部) 5,000 令和7年5月3日 日中 不枝子 学生・生徒等の活動支援 (便式野球部・陸上競技部) 400,000 令和7年5月32日 日中 郁子 教育・研究振興支援 2,000 令和7年7月32日 2,000 令和7年7月32日 2,000 令和7年8月32日 2,000 令和7年8月32日 2,000 令和7年8月32日 2,000 令和7年8月32日 2,000 令和7年5月30日 7年生・生徒等の選挙基金 1,000,000 令和7年5月30日 施設・設備充実支援 (140周年記念事業 神殿竣功) 500,000 令和7年5月30日 7年生・生徒等の活動支援 (第29回全国最校生制作コンテスト) 100,000 令和7年5月30日 7年生・生徒等の活動支援 (第29回全国最校生制作コンテスト) 100,000 令和7年6月3日 7年生・生徒等の活動支援 (静上競技部) 1,000,000 令和7年6月3日 7年生・生徒等の活動支援 (静上競技部) 1,000,000 令和7年6月3日 7年生・生徒等の運営基金 5,000 令和7年6月3日 8分 (財産) 1,000,000 令和7年6月3日 7年生・生徒等の運営基金 5,000 令和7年6月3日 10 (財産) 中土・生徒等の運営基金 5,000 令和7年6月3日 10 (財産) 中土・生徒等の活動支援(財産) 30,000 令和7年6月3日 10 (財産) 中土・生徒等の活動支援(財産) 30,000 令和7年6月3日 <td></td> <td>N/ 0</td> <td></td> <td></td>		N/ 0		
日杵 千枝子 学生・生徒等の活動支援(便式野球部・陸上競技部) 400,000 令和7年5月21日 2,000 令和7年5月21日 2,000 令和7年5月22日 2,000 令和7年5月22日 2,000 令和7年5月23日 2,000 令和7年5月22日 2,000 令和7年5月23日 深田 符弘 学生・生徒等の活動支援(モーターボート水上スキー部) 1,000 向和7年5月30日 一般財団法人国学院大学院友会会長 吉田 茂穂 学生・生徒等の運動基度(第7日陸助の企業文化に学ぶコンテスト) 100,000 令和7年5月30日 中田 豊久 施設・設備充実支援 (学術スポーツ展興資金) 100,000 令和7年5月30日 中田 豊久 施設・設備充実支援 (国上競技部) 100,000 令和7年5月30日 神田 豊久 施設・設備充実支援 (国上競技部) 100,000 令和7年6月3日 神保 和職 学生・生徒等の活動支援 (原入日産財政の企業文化デジンテスト) 100,000 令和7年6月3日 神保 和職 学生・生徒等の活動支援 (陸上競技部) 100,000 令和7年6月3日 神保 和職 学生・生徒等の活動支援 (陸上競技部) 1,000 今和7年6月13日 神保 和職 学生・生徒等の活動支援 (陸上競技部) 1,000 今和7年6月13日 カイナ 日 生生 生物の活動支援 (財産財政) 学生・生徒等の選挙金 9,629,629 令和7年6月16日 カイナ 日 生 生生 学生・生徒等の選挙を金 9,629,629 令和7年6月18日 カイナ 日 生 生生 学生・生徒等の選挙を金 9,629,629 令和7年6月3日 山本 周 学生・生徒等の選挙を金 9,629,629 令和7年6月3日 山本 周 世 生 生徒等の活動支援 (歴史財政部) 9,000 令和7年6月23日 田本 美代 世 大 生 生徒等の活動支援 (歴史財政部) 9,000 令和7年6月23日 田子 美代	寺嶋 将			
田中 郁子 教育・研究振興支援 2,000 令和7年5月22日 2,000 令和7年5月22日 2,000 令和7年5月22日 2,000 令和7年5月23日 2,000 令和7年5月23日 2,000 今和7年5月23日 2,000 今和7年5月30日 2,000 今和7年5月31日 2,000 今和7年5月				
田中 郁子 教育・研究振興支援 2,000 令和7年6月23日 2,000 令和7年7月23日 2,000 令和7年5月24日 2,000 令和7年5月30日 2,000 令和7年6月31日 2,000 会和7年6月31日 2,000 会和7年6	_ ⊟杆 十枝子	字生・生徒等の活動支援(健式野球部・陸上競技部)		
田中 郁子 教育・研究振興支援 2.000 令和7年5月23日 2.000 令和7年5月23日 2.000 令和7年5月23日 2.000 令和7年5月23日 2.000 令和7年5月22日 2.000 令和7年5月22日 2.000 令和7年5月22日 2.000 令和7年5月22日 2.000 令和7年5月22日 学生・生徒等の選挙量金 1.000.000 令和7年5月30日 施設・設備充実支援(140周年記念事業 神殿竣功) 500.000 令和7年5月30日 教育・研究振興支援(学術スポーツ振興支援) 100,000 令和7年5月30日 学生・生徒等の活動支援(学術スポーツ振興支援) 100,000 令和7年5月30日 学生・生徒等の活動支援(学術スポーツ振興支援) 100,000 令和7年5月30日 (全球・企業・の工業・の工業・企業・企業・の工業・企業・企業・企業・企業・の工業・企業・企業・企業・企業・の工業・企業・企業・企業・企業・企業・企業・企業・企業・企業・企業・企業・企業・企業				
### 2.000 令和7年8月22日	m+ +77	***		
空生・生徒等の活動支援(モーターボート水上スキー部) 10,000 令和7年5月24日 空生・生徒等の異学基金	出中(郁子)	教育・研究振興文援		
深田 将弘 学生・生徒等の活動支援(モーターボート水上スキー部) 10,000 令和7年5月22日 学生・生徒等の運撃器金 1,000,000 令和7年5月30日 施設・設備充実支援(140周年記念事業 神殿竣功) 500,000 令和7年5月30日 教育・研究振興支援(学術スポーツ振興資金) 100,000 令和7年5月30日 学生・生球等の活動支援(第29回生間高校生制作コンテスト) 100,000 令和7年5月30日 井田 豊久 施設・設備充実支援(第21回世域の企業化に学ぶコンテスト) 100,000 令和7年5月30日 神保 初養 学生・生徒等の活動支援(際21回世域の企業化に学ぶコンテスト) 100,000 令和7年6月3日 神保 初養 学生・生徒等の活動支援(際21回世域の企業化に学ぶコンテスト) 100,000 令和7年6月3日 神保 初養 学生・生徒等の活動支援(験上競技部) 1,000,000 令和7年6月13日 国学開発学会 学生・生徒等の変学基金 9,629,629 令和7年6月13日 国女内・リプむ 学生・生徒等の変学基金 5,000 令和7年6月3日 高参山 健工 学生・生徒等の変学基金 10,000 令和7年6月3日 高橋 理沙 学生・生徒等の変学基金 5,000 令和7年6月3日 日本 会社 学生・生徒等の運営基金 10,000 令和7年6月3日 日本 会社 学生・生徒等の運営基金 10,000 令和7年6月3日 日本 会社 学生・生徒等の活動支援(際上競技部) 30,000 令和7年6月3日 日本 会社				
学生・生徒等の奨学基金	William Jacob	***		
一般財団法人国学院大学院友会会長 吉田 茂穂 一般財団法人国学院大学院友会会長 吉田 茂穂 教育・研究振興支援(学術スポーツ振興強強)	深田 将弘			
一般財団法人国学院大学院友会会長 吉田 茂穂 教育・研究振興支援(学術スポーツ振興資金) 100,000 令和7年5月30日 学生・生体等の活動支援(第29回全国商校生創作コンテスト) 100,000 令和7年5月30日 学生・生体等の活動支援(第21回地域の伝承文化に学ぶコンテスト) 100,000 令和7年6月 9日 開根 俊 学生・生体等の活動支援(降上競技部) 1,000,000 令和7年6月 9日 開根 俊 学生・生体等の活動支援(陸上競技部) 1,000,000 令和7年6月 13日 学生・生体等の活動支援(陸上競技部) 1,000,000 令和7年6月 13日 学生・生体等の活動支援(陸上競技部) 1,000,000 令和7年6月 13日 学生・生体等の変勢基金 9,629,629 令和7年6月 13日 校内 りずむ 学生・生体等の変勢基金 9,629,629 令和7年6月 13日 学生・生体等の変勢基金 9,629,629 令和7年6月 13日 学生・生体等の変勢基金 9,629,629 令和7年6月 13日 学生・生体等の変勢基金 10,000 令和7年6月 13日 学生・生体等の変勢基金 5,000 令和7年6月 13日 学生・生体等の変勢基金 5,000 令和7年6月 13日 学生・生体等の変勢基金 5,000 令和7年6月 13日 学生・生体等の活動支援(陸上競技部) 30,000 令和7年6月 13日 学生・生体等の活動支援(陸上競技部) 30,000 令和7年6月 13日 学生・生体等の活動支援(随き放送部) 30,000 令和7年6月 13日 学生・生体等の活動支援(関学院大学体育連合会吹奏楽部) 30,000 令和7年6月 13日 大藤 古				
学生・生徒等の活動支援(第29回全国高校生創作コンテスト) 100,000 令和7年5月30日 学生・生徒等の活動支援(第21回地域の伝承文化に学ぶコンテスト) 100,000 令和7年5月30日 財根 俊 学生・生徒等の活動支援(陸上競技部) 1,000,000 令和7年6月 9日 財根 俊 学生・生徒等の活動支援(陸上競技部) 1,000,000 令和7年6月 13日 神保 和憲 学生・生徒等の運学基金 9,629,629 令和7年6月 13日 国学院大学人間開発学会 学生・生徒等の運学基金 9,629,629 令和7年6月 13日 国学 サ生・生徒等の運学基金 5,000 令和7年6月 23日 喜多山 健二 学生・生徒等の奨学基金 100,000 令和7年6月 23日 高橋 理沙 学生・生徒等の奨学基金 5,000 令和7年6月 23日 田中 美代 教育・研究振興支援(陸上競技部) 30,000 令和7年6月 23日 田中 美代 教育・研究振興支援(陸上競技部) 30,000 令和7年6月 23日 田中 美代 教育・研究振興支援(国学院大学体育連合会吹奏楽部) 30,000 令和7年6月 23日 医素 学生・生徒等の運動支援(国生競技部) 20,000 令和7年6月 23日 大澤 敏司 学生・生徒等の運動支援(団学院大学体育連合会吹奏楽部) 30,000 令和7年6月 23日 大澤 敏司 学生・生徒等の運動支援(国学院大学体育連合会吹奏楽部) 30,000 令和7年7月 14日 中下 健太郎 教育・研究振興支援(研究開発推進機構) 20,000 令和7年7月 14日				
井田 豊久 学生・生徒等の活動支援(第21回地域の伝承文化に学ぶコンテスト) 100,000 令和7年5月30日 開根 俊 学生・生徒等の活動支援(陸上競技部) 1,000,000 令和7年6月13日 神保 和騰 学生・生徒等の活動支援(陸上競技部) 1,000,000 令和7年6月13日 国学院大学人間開発学会 学生・生徒等の変学基金 9,629,629 令和7年6月13日 国学の大学人間開発学会 学生・生徒等の変学基金 5,000 令和7年6月23日 画と 学生・生徒等の変学基金 100,000 令和7年6月23日 画と 学生・生徒等の変学基金 5,000 令和7年6月23日 画橋 理沙 学生・生徒等の活動支援(陸上競技部) 30,000 令和7年6月23日 伊藤 直配 学生・生徒等の活動支援(陸上競技部) 20,000 令和7年6月23日 田中 美代 教育・研究振興支援(陸上競技部) 20,000 令和7年6月23日 実業 敏司 学生・生徒等の選学基金 10,000 令和7年6月23日 実業 敏司 学生・生徒等の選学基金 10,000 令和7年7月3日 大澤 敏司 学生・生徒等の選挙基金 10,000 令和7年7月3日 大澤 敏司 学生・生徒等の選挙基金 10,000 令和7年7月3日 特定非営利活動法人アクティブスポーツ運転長 小島 光顔 新され会社アルフルフルラス・サイ・洗剤 施設 設備の主義・経済の運営基金 60,000 令和7年8月5日 株式会社アルフルフルライ・渋谷 代表取締役 衛田 新会 研究振興支援 新会・研究振興支援 衛田 衛田 新会 研究振興支援 「大学・生徒等の要学基金	一般射団法人国子阮人子阮及云云长 百田 戊億			
井田 豊久 施設・設備充実支援 10,000 令和7年6月 9日 脚保 俊 学生・生徒等の活動支援(陸上競技部) 1,000,000 令和7年6月13日 国学院大学人間開発学会 学生・生徒等の変学基金 9,629,629 令和7年6月16日 取内 りずむ 学生・生徒等の変学基金 9,629,629 令和7年6月13日 直多山 健二 学生・生徒等の変学基金 100,000 令和7年6月23日 画橋 理沙 学生・生徒等の変学基金 5,000 令和7年6月23日 戸藤 直記 学生・生徒等の活動支援(陸上競技部) 30,000 令和7年6月23日 伊藤 直記 学生・生徒等の活動支援(陸上競技部) 20,000 令和7年6月23日 田中 美代 教育・研究振興支援(国学院大学体育連合会吹奏楽部) 30,000 令和7年6月23日 医田 治穂 学生・生徒等の活動支援(国学院大学体育連合会吹奏楽部) 30,000 令和7年6月23日 大澤 敏司 学生・生徒等の変学基金 10,000 令和7年7月2日 山下 健太郎 教育・研究振興支援(研究開発推進機構) 20,000 令和7年7月2日 山下 健太郎 教育・研究振興支援(研究開発推進機構) 20,000 令和7年7月3日 特定非営利活動法人アクティブスポーツ理事長 小島 光顕 施設 設備の実施で変学基金 10,000 令和7年7月3日 株式会社アルノ代表取締役 實川 利光 学生・生徒等の変学基金 10,000 令和7年8月2日 藤岡 裕 原設・設備の変学基金 10,000 令和7年8月2日 <				
関根 俊 学生・生徒等の活動支援 (陸上競技部) 1,000,000 令和7年6月13日 神保 和憲 学生・生徒等の活動支援 (陸上競技部) 10,000 令和7年6月13日 国学院大学人間開発学会 学生・生徒等の変学基金 9,629,629 令和7年6月16日 牧内 りずむ 学生・生徒等の変学基金 5,000 令和7年6月23日 週本 周典 学生・生徒等の変学基金 100,000 令和7年6月23日 画橋 理沙 学生・生徒等の変学基金 5,000 令和7年6月23日 画稿 理沙 学生・生徒等の変学基金 5,000 令和7年6月23日 田中 裏代 教育・研究振興支援 (陸上競技部) 20,000 令和7年6月23日 田中 美代 教育・研究振興支援 (国学院大学体育連合会吹奏楽部) 30,000 令和7年6月23日 医田 治穂 学生・生徒等の活動支援 (国学院大学体育連合会吹奏楽部) 30,000 令和7年6月23日 大澤 敏司 学生・生徒等の変学基金 10,000 令和7年7月2日 山下 健太郎 教育・研究振興支援 (国学院大学体育連合会吹奏楽部) 30,000 令和7年7月2日 地下 健太郎 教育・研究振興支援 (国学院大学全学応援団) 10,000 令和7年7月31日 特定非営利活動法人アクティブスポーツ理事長 小島 光顕 施設・設備充実支援 (間検尿グラウンド営繕) 60,000 令和7年7月31日 特定非営利活動法人アクティブスポーツ理事長 小島 光顕 施設・設備充実支援 (間検尿グラウンド営繕) 60,000 令和7年8月5日 株式会社アルクで大変取締役 裏川 利光 学生・生徒等の変学基金 10,000 令和7年8月25日 株式会社アローズ・ケイ・渋谷 代表取締役 城所 俊哉 学生・生徒等の変学基金 10,000 令和7年9月3日 水谷 健介 教育・研究振興支援 (研究開発推進センター) 600,000 令和7年9月3日 水谷 健介 教育・研究振興支援 (
神保 和憲 学生・生徒等の活動支援 (陸上競技部) 10,000 令和7年6月13日 国学院大学人間開発学会 学生・生徒等の奨学基金 9,629,629 令和7年6月16日 牧内 リずむ 学生・生徒等の奨学基金 5,000 令和7年6月23日 日本 周典 学生・生徒等の選学基金 100,000 令和7年6月23日 高橋 理沙 学生・生徒等の活動支援 (陸上競技部) 30,000 令和7年6月23日 伊藤 直記 学生・生徒等の活動支援 (陸上競技部) 20,000 令和7年6月23日 田中 美代 教育・研究振興支援 10,000 令和7年6月23日 医田 治穂 学生・生徒等の活動支援 (国学院大学体育連合会吹奏楽部) 30,000 令和7年6月23日 天澤 敏司 学生・生徒等の運学基金 10,000 令和7年6月23日 大澤 敏司 学生・生徒等の運学基金 10,000 令和7年7月2日 大澤 敏司 学生・生徒等の運学基金 10,000 令和7年7月2日 大澤 敏司 学生・生徒等の運学基金 60,000 令和7年7月2日 大澤 敏司 学生・生徒等の運学基金 60,000 令和7年7月14日 学生・生徒等の運学基金 60,000 令和7年7月31日 株式会社アルクイ表取締役 實川 利光 学生・生徒等の要学基金 60,000 令和7年8月5日 庭園 裕 施設・設備充実支援 10,000 令和7年8月7日 匿名 学生・生徒等の要更基金 10,000 令和7年8月29日 株式会社アローズ・ケイ・渋谷 代表取締役 城所 俊哉 学生・			-,	
国学院大学人間開発学会 学生・生徒等の奨学基金 9,629,629 令和7年6月16日 枚内 りずむ 学生・生徒等の奨学基金 5,000 令和7年6月23日 富多山 健工 学生・生徒等の奨学基金 100,000 令和7年6月23日 山本 周典 学生・生徒等の運労基金 5,000 令和7年6月23日 高橋 理沙 学生・生徒等の活動支援 (陸上競技部) 30,000 令和7年6月23日 伊藤 直記 学生・生徒等の活動支援 (陸上競技部) 20,000 令和7年6月23日 田中 美代 教育・研究振興支援 10,000 令和7年6月23日 医工 敏司 学生・生徒等の活動支援 (国学院大学体育連合会吹奏楽部) 30,000 令和7年6月23日 大澤 敏司 学生・生徒等の運労基金 10,000 令和7年7月28日 山下 健太郎 教育・研究振興支援 (研究開発推進機構) 20,000 令和7年7月14日 学生・生徒等の活動法人アクティブスポーツ理事長 小島 光顔 施設・設備充実支援 (相模原グラウンド営繕) 60,000 令和7年7月14日 特定非営利活動法人アクティブスポーツ理事長 小島 光顔 施設・設備充実支援 (相模原グラウンド営繕) 60,000 令和7年8月 5日 株式会社アルク代表取締役 賞川 利光 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年8月 5日 施設 設備布定 労産 生徒等の受労基金 10,000 令和7年8月 5日 施設 社会等の受労基金 10,000 令和7年8月 5日 神社本庁総合研究所所長 田中 恒清 教育・研究振興支援 10,000 令和7年9月 5日 株式会社アローズ・ケイ・渋合 代表取締役 城所 俊哉 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年9月 24日				
牧内 りずむ 学生・生徒等の奨学基金 5,000 令和7年6月23日 直多山 健二 学生・生徒等の奨学基金 100,000 令和7年6月23日 山本 周典 学生・生徒等の運学基金 5,000 令和7年6月23日 高橋 理沙 学生・生徒等の活動支援(陸上競技部) 30,000 令和7年6月23日 田中 美代 教育・研究振興支援 10,000 令和7年6月23日 医田 治穂 学生・生徒等の活動支援(国学院大学体育連合会吹奏楽部) 30,000 令和7年6月23日 天澤 敏司 学生・生徒等の運学基金 10,000 令和7年7月2日 上下 健太郎 教育・研究振興支援(研究開発推進機構) 20,000 令和7年7月31日 特定非営利活動法人アクティブスポーツ理事長 小島 光顕 施設・設備充実支援(相模原グラウンド営繕) 60,000 令和7年7月31日 特定非営利活動法人アクティブスポーツ理事長 小島 光顕 施設・設備充実支援(相模原グラウンド営繕) 60,000 令和7年8月5日 特式会社アルク代表取締役 實川 利光 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年8月5日 新商 裕 施設・設備充実支援(研究開発推進センター) 60,000 令和7年8月29日 神社本庁総合研究所所長 田中 恒清 教育・研究振興支援(研究開発推進センター) 60,000 令和7年8月29日 株式会社アローズ・ケイ・渋合 代表取締役 城所 俊哉 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年9月24日 来野 悠樹 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年9月24日 来野 悠樹 学生・生徒等の奨学基金				
喜多山 健二 学生・生徒等の奨学基金 100,000 令和7年6月23日 山本 周典 学生・生徒等の奨学基金 5,000 令和7年6月23日 高橋 理沙 学生・生徒等の活動支援(陸上競技部) 30,000 令和7年6月23日 伊藤 直記 学生・生徒等の活動支援(陸上競技部) 20,000 令和7年6月23日 助日				
山本 周典 学生・生徒等の奨学基金 5,000 令和7年6月23日 高橋 理沙 学生・生徒等の活動支援(陸上競技部) 30,000 令和7年6月23日 伊藤 直記 学生・生徒等の活動支援(陸上競技部) 20,000 令和7年6月23日 田中 美代 教育・研究振興支援 10,000 令和7年6月23日 園田 治穂 学生・生徒等の活動支援(国学院大学体育連合会吹奏条部) 30,000 令和7年6月23日 矢澤 敏司 学生・生徒等の運学基金 10,000 令和7年7月2日 山下 健太郎 教育・研究振興支援(研究開発推進機構) 20,000 令和7年7月14日 学生・生徒等の活動支援(国学院大学全学応援団) 10,000 令和7年7月31日 特定非営利活動法人アクティブスポーツ理事長 小島 光顕 施設・設備充実支援(相模原グラウンド営繕) 60,000 令和7年8月5日 総図 裕 施設・設備充実支援(相模原グラウンド営繕) 60,000 令和7年8月5日 総図 裕 施設・設備充実支援 10,000 令和7年8月29日 神社本庁総合研究所所長 田中 恆清 教育・研究振興支援(研究開発推進センター) 600,000 令和7年8月29日 株式会社アローズ・ケイ・渋谷 代表取締役 城所 俊哉 教育・研究振興支援 600,000 令和7年9月28日 宮沢 和季 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年9月8日 宮沢 和季 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年9月24日 柴野 悠樹 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年9月24日 <				
高橋 理沙 学生・生徒等の活動支援(陸上競技部) 30,000 令和7年6月23日 伊藤 直記 学生・生徒等の活動支援(陸上競技部) 20,000 令和7年6月23日 田中 美代 教育・研究振興支援 10,000 令和7年6月23日 國田 治穂 学生・生徒等の活動支援(国学院大学体育連合会吹奏楽部) 30,000 令和7年6月23日 矢澤 報司 学生・生徒等の運学基金 10,000 令和7年7月2日 山下 健太郎 学生・生徒等の運学基金 10,000 令和7年7月14日 学生非営利活動法人アクティブスポーツ理事長 小島 光顕 施設・設備充実支援(国学院大学全学応援団) 10,000 令和7年7月31日 特定非営利活動法人アクティブスポーツ理事長 小島 光顕 施設・設備充実支援(相模原グラウンド営繕) 60,000 令和7年8月5日 株式会社アルク代表取締役 費川 利光 学生・生徒等の要学基金 10,000 令和7年8月5日 庭名 学生・生徒等の要学基金 1,000,000 令和7年8月29日 株式会社アローズ・ケイ・渋谷(代表取締役 城所 俊哉) 学生・生徒等の要学基金 60,000,000 令和7年9月5日 水谷(全) 教育・研究振興支援 10,000 令和7年9月5日 2日 水谷(全) 教育・研究振興支援 10,000 令和7年9月24日 2年 東野 悠樹 学生・生徒等の要学基金 10,000 令和7年9月24日 要株式会社代表取締役 学生・生徒等の選挙基金 10,000 令和7				
伊藤 直記 学生・生徒等の活動支援 (陸上競技部) 20,000 令和7年6月23日 田中 美代 教育・研究振興支援 10,000 令和7年6月23日 國田 治穂 学生・生徒等の活動支援 (国学院大学体育連合会吹奏楽部) 30,000 令和7年6月23日 天澤 敏司 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年7月2日 山下 健太郎 教育・研究振興支援 (研究開発推進機構) 20,000 令和7年7月14日 学生・生徒等の活動支援 (国学院大学全学応援団) 10,000 令和7年7月31日 特定非営利活動法人アクティブスポーツ理事長 小島 光顕 施設・設備充実支援 (相模原グラウンド営繕) 60,000 令和7年8月5日 株式会社アルク代表取締役 實川 利光 学生・生徒等の奨学基金 60,000 令和7年8月5日 超岡 裕 施設・設備充実支援 (研究原列学基金 1,000,000 令和7年8月29日 地社本庁総合研究所所長 田中 恆清 教育・研究振興支援 (研究開発推進センター) 600,000 令和7年8月29日 株式会社アローズ・ケイ・渋谷 代表取締役 城所 俊哉 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年9月5日 水谷 健介 教育・研究振興支援 10,000 令和7年9月24日 室沢 和季 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年9月24日 実野 悠樹 学生・生徒等の運営基金 10,000 令和7年9月24日 要株式会社代表取締役 中川 崇 学生・生徒等の活動支援 50,000 令和7年9月29日 国学院大学院等の運営基金 10,000 令和7年9月29日			-	
田中 美代 教育・研究振興支援 10,000 令和7年6月23日 園田 治穂 学生・生徒等の活動支援(国学院大学体育連合会吹奏楽部) 30,000 令和7年6月23日 大澤 敏司 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年7月2日 山下 健太郎 教育・研究振興支援(研究開発推進機構) 20,000 令和7年7月14日 学生・生徒等の活動支援(国学院大学全学応援団) 10,000 令和7年7月31日 特定非営利活動法人アクティブスポーツ理事長 小島 光顕 施設・設備充実支援(相模原グラウンド営繕) 60,000 令和7年8月5日 株式会社アルク代表取締役 實川 利光 学生・生徒等の奨学基金 60,000 令和7年8月5日 庭岡 裕 施設・設備充実支援 1,000,000 令和7年8月7日 匿名 学生・生徒等の奨学基金 1,000,000 令和7年8月29日 株式会社アローズ・ケイ・渋谷 代表取締役 城所 俊哉 学生・生徒等の奨学基金 60,000,000 令和7年8月29日 株式会社アローズ・ケイ・渋谷 代表取締役 城所 俊哉 第音・研究振興支援 10,000 令和7年9月8日 宮沢 和季 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年9月8日 宮沢 和季 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年9月24日 安井・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年9月24日 宝株式会社代表取締役 中川 崇 学生・生徒等の活動支援 50,000 令和7年9月29日 国学院大学院友経済会会長 橋本 憲市郎 学生・生徒等の活動支援(経営学科開設20周年記念事業) 700,000 令和7年9月29日				
園田 治穂 学生・生徒等の活動支援(国学院大学体育連合会吹奏楽部) 30,000 令和7年6月23日 大澤 敏司 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年7月2日 山下 教育・研究振興支援(研究開発推進機構) 20,000 令和7年7月14日 学生・生徒等の活動支援(国学院大学全学応援団) 10,000 令和7年7月31日 特定非営利活動法人アクティブスポーツ理事長 小島 光顕 施設・設備充実支援(相模原グラウンド営繕) 60,000 令和7年8月5日 構成会社アルク代表取締役 實川 利光 学生・生徒等の奨学基金 60,000 令和7年8月5日 超岡 裕 施設・設備充実支援 1,000 令和7年8月7日 匿名 学生・生徒等の奨学基金 1,000,000 令和7年8月29日 神社本庁総合研究所所長 田中 恆清 教育・研究振興支援(研究開発推進センター) 600,000 令和7年9月5日 水谷 健介 学生・生徒等の奨学基金 60,000,000 令和7年9月5日 水谷 健介 教育・研究振興支援 10,000 令和7年9月8日 宮沢 和季 学生・生徒等の奨学基金 1,000 令和7年9月24日 実野 悠樹 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年9月24日 豆株式会社代表取締役 中川 崇 学生・生徒等の活動支援 50,000 令和7年9月29日 国学院大学院友経済会会長 橋本 憲市郎 学生・生徒等の活動支援(経営学科開設20周年記念事業) 700,000 令和7年9月29日				
矢澤 敏司 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年7月 2日 取育・研究振興支援(研究開発推進機構) 20,000 令和7年7月14日 学生・生徒等の活動支援(国学院大学全学応援団) 10,000 令和7年7月31日 特定非営利活動法人アクティブスポーツ理事長 小島 光顕 施設・設備充実支援(相模原グラウンド営繕) 60,000 令和7年8月5日 株式会社アルク代表取締役 實川 利光 学生・生徒等の奨学基金 60,000 令和7年8月5日 庭園 裕 施設・設備充実支援 10,000 令和7年8月7日 匿名 学生・生徒等の奨学基金 1,000,000 令和7年8月29日 神社本庁総合研究所所長 田中 恆清 教育・研究振興支援(研究開発推進センター) 600,000 令和7年9月5日 水谷 健介 学生・生徒等の奨学基金 60,000,000 令和7年9月 8日 宮沢 和季 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年9月24日 実野 悠樹 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年9月24日 豆株式会社代表取締役 中川 崇 学生・生徒等の活動支援 50,000 令和7年9月29日 国学院大学院友経済会会長 橋本 憲市郎 学生・生徒等の活動支援(経営学科開設20周年記念事業) 700,000 令和7年9月29日				
山下 健太郎 教育・研究振興支援(研究開発推進機構) 20,000 令和7年7月14日 学生・生徒等の活動支援(国学院大学全学応援団) 10,000 令和7年7月31日 特定非営利活動法人アクティブスポーツ理事長 小島 光顕 施設・設備充実支援(相模原グラウンド営繕) 60,000 令和7年8月5日 株式会社アルク代表取締役 實川 利光 学生・生徒等の奨学基金 60,000 令和7年8月5日 館岡 裕 施設・設備充実支援 10,000 令和7年8月7日 匿名 学生・生徒等の奨学基金 1,000,000 令和7年8月29日 神社本庁総合研究所所長 田中 恆清 教育・研究振興支援(研究開発推進センター) 600,000 令和7年8月29日 株式会社アローズ・ケイ・渋谷 代表取締役 城所 俊哉 学生・生徒等の奨学基金 60,000,000 令和7年9月8日 宮沢 和季 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年9月24日 実野 悠樹 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年9月24日 豆株式会社代表取締役 中川 崇 学生・生徒等の活動支援 50,000 令和7年9月29日 国学院大学院友経済会会長 橋本 憲市郎 学生・生徒等の活動支援(経営学科開設20周年記念事業) 700,000 令和7年9月29日				令和7年7月 2日
出下 健太郎 学生・生徒等の活動支援(国学院大学全学応援団) 10,000 令和7年7月31日 特定非営利活動法人アクティブスポーツ理事長 小島 光顕 株式会社アルク代表取締役 實川 利光 施設・設備充実支援(相模原グラウンド営繕) 60,000 令和7年8月5日 据岡 裕 施設・設備充実支援 10,000 令和7年8月7日 匿名 学生・生徒等の奨学基金 1,000,000 令和7年8月29日 神社本庁総合研究所所長 田中 恆清 教育・研究振興支援(研究開発推進センター) 600,000 令和7年8月29日 株式会社アローズ・ケイ・渋谷 代表取締役 城所 俊哉 学生・生徒等の奨学基金 60,000,000 令和7年9月5日 水谷 健介 教育・研究振興支援 10,000 令和7年9月8日 宮沢 和季 学生・生徒等の奨学基金 1,000 令和7年9月24日 柴野 悠樹 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年9月24日 豆株式会社代表取締役 中川 崇 学生・生徒等の活動支援(経営学科開設20周年記念事業) 700,000 令和7年9月29日 国学院大学院友経済会会長 橋本 憲市郎 学生・生徒等の活動支援(経営学科開設20周年記念事業) 700,000 令和7年9月29日				令和7年7月14日
特定非営利活動法人アクティブスポーツ理事長 小島 光顕 施設・設備充実支援(相模原グラウンド営繕) 60,000 令和7年8月5日 株式会社アルク代表取締役 實川 利光 学生・生徒等の奨学基金 60,000 令和7年8月5日 庭岡 裕 施設・設備充実支援 10,000 令和7年8月7日 匿名 学生・生徒等の奨学基金 1,000,000 令和7年8月29日 神社本庁総合研究所所長 田中 恆清 教育・研究振興支援(研究開発推進センター) 600,000 令和7年8月29日 株式会社アローズ・ケイ・渋谷 代表取締役 城所 俊哉 学生・生徒等の奨学基金 60,000,000 令和7年9月5日 水谷 健介 教育・研究振興支援 10,000 令和7年9月8日 宮沢 和季 学生・生徒等の奨学基金 1,000 令和7年9月24日 柴野 悠樹 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年9月24日 豆株式会社代表取締役 中川 崇 学生・生徒等の活動支援(経営学科開設20周年記念事業) 700,000 令和7年9月29日 国学院大学院友経済会会長 橋本 憲市郎 学生・生徒等の活動支援(経営学科開設20周年記念事業) 700,000 令和7年9月29日	山下健太郎			
株式会社アルク代表取締役 實川 利光 学生・生徒等の奨学基金 60,000 令和7年8月5日 館岡 裕 施設・設備充実支援 10,000 令和7年8月7日 匿名 学生・生徒等の奨学基金 1,000,000 令和7年8月29日 神社本庁総合研究所所長 田中 恆清 教育・研究振興支援(研究開発推進センター) 600,000 令和7年8月29日 株式会社アローズ・ケイ・渋谷 代表取締役 城所 俊哉 学生・生徒等の奨学基金 60,000,000 令和7年9月5日 水谷 健介 教育・研究振興支援 10,000 令和7年9月8日 宮沢 和季 学生・生徒等の奨学基金 1,000 令和7年9月24日 柴野 悠樹 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年9月24日 豆株式会社代表取締役 中川 崇 学生・生徒等の活動支援 50,000 令和7年9月29日 国学院大学院友経済会会長 橋本 憲市郎 学生・生徒等の活動支援(経営学科開設20周年記念事業) 700,000 令和7年9月29日	- 特定非営利活動法人アクティブスポーツ理事長 小島 光顕			令和7年8月 5日
館岡 裕 施設・設備充実支援 10,000 令和7年8月7日 匿名 学生・生徒等の奨学基金 1,000,000 令和7年8月29日 神社本庁総合研究所所長 田中 恆清 教育・研究振興支援(研究開発推進センター) 600,000 令和7年8月29日 株式会社アローズ・ケイ・渋谷 代表取締役 城所 俊哉 学生・生徒等の奨学基金 60,000,000 令和7年9月5日 水谷 健介 教育・研究振興支援 10,000 令和7年9月8日 宮沢 和季 学生・生徒等の奨学基金 1,000 令和7年9月24日 柴野 悠樹 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年9月24日 豆株式会社代表取締役 中川 崇 学生・生徒等の活動支援 50,000 令和7年9月29日 国学院大学院友経済会会長 橋本 憲市郎 学生・生徒等の活動支援(経営学科開設20周年記念事業) 700,000 令和7年9月29日				令和7年8月 5日
匿名学生・生徒等の奨学基金1,000,000令和7年8月29日神社本庁総合研究所所長田中 恆清教育・研究振興支援(研究開発推進センター)600,000令和7年8月29日株式会社アローズ・ケイ・渋谷 代表取締役 城所 俊哉学生・生徒等の奨学基金60,000,000令和7年9月5日水谷 健介教育・研究振興支援10,000令和7年9月8日宮沢 和季学生・生徒等の奨学基金1,000令和7年9月24日柴野 悠樹学生・生徒等の奨学基金10,000令和7年9月24日豆株式会社代表取締役 中川 崇学生・生徒等の活動支援50,000令和7年9月29日国学院大学院友経済会会長橋本 憲市郎学生・生徒等の活動支援(経営学科開設20周年記念事業)700,000令和7年9月29日				令和7年8月 7日
神社本庁総合研究所所長 田中 恒清 教育・研究振興支援(研究開発推進センター) 600,000 令和7年8月29日 株式会社アローズ・ケイ・渋谷 代表取締役 城所 俊哉 学生・生徒等の奨学基金 60,000,000 令和7年9月5日 水谷 健介 教育・研究振興支援 10,000 令和7年9月8日 宮沢 和季 学生・生徒等の奨学基金 1,000 令和7年9月24日 柴野 悠樹 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年9月24日 豆株式会社代表取締役 中川 崇 学生・生徒等の活動支援 50,000 令和7年9月29日 国学院大学院友経済会会長 橋本 憲市郎 学生・生徒等の活動支援(経営学科開設20周年記念事業) 700,000 令和7年9月29日			-	令和7年8月29日
株式会社アローズ・ケイ・渋谷 代表取締役 城所 俊哉 学生・生徒等の奨学基金 60,000,000 令和7年9月5日 水谷 健介 教育・研究振興支援 10,000 令和7年9月8日 宮沢 和季 学生・生徒等の奨学基金 1,000 令和7年9月24日 柴野 悠樹 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年9月24日 豆株式会社代表取締役 中川 崇 学生・生徒等の活動支援 50,000 令和7年9月29日 国学院大学院友経済会会長 橋本 憲市郎 学生・生徒等の活動支援(経営学科開設20周年記念事業) 700,000 令和7年9月29日				令和7年8月29日
水谷 健介教育・研究振興支援10,000令和7年9月8日宮沢 和季学生・生徒等の奨学基金1,000令和7年9月24日柴野 悠樹学生・生徒等の奨学基金10,000令和7年9月24日豆株式会社代表取締役 中川 崇学生・生徒等の活動支援50,000令和7年9月29日国学院大学院友経済会会長 橋本 憲市郎学生・生徒等の活動支援(経営学科開設20周年記念事業)700,000令和7年9月29日				令和7年9月 5日
宮沢 和季 学生・生徒等の奨学基金 1,000 令和7年9月24日 柴野 悠樹 学生・生徒等の奨学基金 10,000 令和7年9月24日 豆株式会社代表取締役 中川 崇 学生・生徒等の活動支援 50,000 令和7年9月29日 国学院大学院友経済会会長 橋本 憲市郎 学生・生徒等の活動支援(経営学科開設20周年記念事業) 700,000 令和7年9月29日				令和7年9月 8日
豆株式会社代表取締役 中川 崇 学生・生徒等の活動支援 50,000 令和7年9月29日 国学院大学院友経済会会長 橋本 憲市郎 学生・生徒等の活動支援(経営学科開設20周年記念事業) 700,000 令和7年9月29日				令和7年9月24日
国学院大学院友経済会会長 橋本 憲市郎 学生・生徒等の活動支援(経営学科開設20周年記念事業) 700,000 令和7年9月29日	柴野 悠樹	学生・生徒等の奨学基金	10,000	令和7年9月24日
	昱株式会社代表取締役 中川 崇	学生・生徒等の活動支援	50,000	令和7年9月29日
国学院大学硬式野球部後援会会長 塙 東男 学生・生徒等の活動支援 (硬式野球部) 4,142,065 令和7年9月29日	国学院大学院友経済会会長 橋本 憲市郎	学生・生徒等の活動支援 (経営学科開設20周年記念事業)	700,000	令和7年9月29日
	国学院大学硬式野球部後援会会長 塙 東男	学生・生徒等の活動支援(硬式野球部)	4,142,065	令和7年9月29日

80年10月14日に 中五年史』に 十五年史』に 十五年史』に

本

居長世が手がけ

は、童謡作曲家

(現東京芸大)で学び、同校の助教

歳 和

20 (1945)

で没し、今年で

に調

はに

「曲は優雅であっ

いて、本学の『八

|百年史|

には

一曲 用

は優雅にして荘

評されている。

の

にも供し得る」、

なものである」と

0)

方で、「

我

が

校歌の作曲がど

國學院大學核歌 Allegretto (J = 160)

学の道には たのは国学 進まず、東 穎に養育さ 代目の子孫 居宣長の六 れるも、国 しれない。 よるのかも との由縁に 作曲を担っ そのため、 に当たる。

年に目黒不動尊に記念碑(十五夜

お月さんの碑)が建立された。除

生誕百年を記念して、春彦が世話

人の会長となり昭和6(1985)

して本学の名も記されている。 らされており、そこには協賛者と 告書などは、春彦から本学にもた でも報じられているが、建立の報 幕式のことは学報(第304号)

校歌の作曲に長世が「抜てき」

き長世 大変喜んだ」とある。 てき

0 作曲につ 学者)が本学で講師 豊潔(大正天皇の侍 学校歌がある。長世 学校歌がある。長世 た本居豊穎の孫 侍講を勤めた国 典講究所・国学 の教えを受けて 帥を務めたこと 世の祖父・本居 た曲の一つに本 である大正10年 氏の談話を踏ま

15年に作られた R世の全盛期で 80名松浦良代に 80名松浦良代に 15)によるに 16年に作られた 曲につ。と、 と、長世の研究 年前の学報(第

ような経緯によ ったか史料 その 経 緯について判然 を欠き明らかで り担当されたも

り合いであったであろう。長世の 当時に教授として本学に在職して 助の長男である。京助は校歌作曲 たのだと伝える」。 いた。おそらく京助と長世は見知 春彦は、言わずもがな金田一京

であり、本

待していた学生の間にはあまり受 それによってはじめて自信をもっ けはよくなかった。それが、11月 親しみを感じて快諾したのだろ 神道の大学だというところから、 ったが、国学院大学という大学が あまりこういうことはしない彼だ 学のために校歌を作曲している。 る。「大正13年9月には、国学院大 折口信夫の門人の伊馬春部談とし 田一春彦の『十五夜お月さん』に、 として「十五夜お月さん」など数々 年に教職を辞してからは、作曲家 これはいい曲だとほめた。学生は 16日に運動会が開かれるときに、 学の応援歌のような勇壮な曲を期 う。この曲が最初に発表されたと 門下生であり、国語学者である金 の童謡を世に送り出した。長世の 授となった。大正3(1914) て本学校歌に対しての言及があ 山軍楽隊の楽長が譜面を見て、 早稲田大学の校歌や、慶応大

7, であ

O) 作 |曲と、その曲調 遒 第 **71** 回 本居長世没後80年

研究開発推進機構准教授 渡邉卓

ってのことと推察される。

でない」が、本学との深い所縁あ された理由は「史料を欠き明らか









主要な仕事だ。

学部が開設された。同時に 指せる大学を探していた うと考えたのか かった。そのような中、国 学院大学に新しく人間開発 した。ソフトテニス部が強 私はスポーツ推薦で入学 かつ小学校の教員を目 希望に合う大学は少な

強化部会」に指定され、選

育実践総合センターの小笠 や授業の補助、宿泊体験学 代ではなかったが、思い切 ていただいた。当時はまだ 4年生まで横浜市内の小中 誰もがボランティアやイン 活動ができる学校を紹介し 原優子・人間開発学部教授 ターンシップに参加する時 (特別専任)にボランティア

院友とのつながりから生まれる活力

現在の勤務校では5年生の学年主任を務める多忙な毎日の傍ら、渡瀬さん は本学を卒業した横浜市の教員で組織する「横浜市学校院友会」の副会長職 を担う。院友名簿や会費の管理のほか、毎年開かれる総会と懇親会の運営が

「横浜市の学校に関わる院友の仲間がこんなにたくさんいるのだという力 強さを感じる。自分が小学生の頃から先生をしている先輩方の話はとても心 に刺さる。一方で新規採用になった皆さんも毎年、総会にあいさつに来てく れるので、ともに頑張っていこうという一体感が生まれる。同じ大学で学ん

だ人と人とのつながりを感じ、自分自身も活力をいただいている | と渡瀬さ

んは会の要職を務めることのやりがいを語る。

を目指す仲間が多くできた ことは心強く、大学で学び す教育とは何かをしっかり て入塾した。横浜市の目指 に「横浜の先生」になりたい 生方との出会いをきっかけ 切なつながりを得られた。 合った同期とはまた違う大 と学べ、同じ横浜市の教員 カレッジ」に第1期生とし る「よこはま教師塾アイ・ 3年生では横浜市が運営す と考えるようになり、大学 横浜市の大勢の熱心な先

きた。小学校3年生の頃に が毎日19時から21時まであ ている姿勢がよく伝わって 先生で、子どもを大切にし 始めたソフトテニスの練習 けとなった。とても熱心な 年生の時に担任教員と出会 ったことが、 静岡県富士市の小学校6 小学校教員を目指そう 大きなきっか

たが、例えば実際に教育現

教職の世界でよく言われ

など、大学として一人一人 ンティア先を探してくれる 望すると、すぐに教育ボラ 場に出て学んでみたいと希 かった。 てもらえたことがありがた の学生にとことん寄り添っ

り大変だったが、いつも気

にかけてくださり、たくさ

ん褒めていただいたこと

で、勉強もテニスも両方を

プに参加したのは 始めた教育インターンシッ 入学後1年間の学びを経 教員として働く現場を 大学2年生から大学が

させてくれた私にとっての

い」という気持ちを芽生え

た。「小学校の先生になりた 頑張れるという自信がつい

年度、第1期生で飛び込ん

いが強くなっていた時、

実際に見てみたいという思

八間開発学部の開設初

なぜ国学院大学で学ぼ

思った。 事を実際に見て学びたいと ことを考えると、怖さがあ な教員も、大学を卒業した った。いち早く、教員の仕 のような世界に入っていく 職務を担う。3年後にはそ クラスに責任を持ち、同じ ての新任教員も担任として のキャリアがある経験豊富 ることだが、20年から30年 命的な出会い

がいない環境に不安もあっ 残っている。学部ができた とになった。私にとっては ばかりで、頼りになる先輩 らったという記憶も鮮明に 運命的な出会いだった。 学生の声を大切にしても

ぜか の場を求めていったのはな 働く現場の実感に触れた。 られることで、教員として 大学生ながら「先生」と見 だ。子どもたちと関わり、 あえて学外にまで学び

教員を目指す身 とし だった本学への人学 て

みんなで増やそう 成果のキラキ

渡瀬さんが担任を務める5年2組の教室に 掲げられている掲示物。授業や行事などク ラスのみんなで頑張って成果が上がると、 金色の「キラキラ」が増えていく



だいた。これもまた運命的

が気にかけてくださった。

ないような人に教えていた 持ち主で、普通なら出会え えて視学官を務めた経歴の

なことだと思う。

特別活動には教科書がな

良い社会 変えてい



恩師 大学生活での学びが教員人生の土台に との 会い 、部活での実践

ついての研究を深めたのは 間開発学部教授のゼミナー 大学で宮川八岐・元人

とし、さらに教科領域を超 ばらしい教授がいることを りやすい授業を行うことは の教育環境は教員だ。分か 間だ。子どもにとって最大 動、いわゆる「学活」の時 査官として特別活動を専門 知った。それが宮川先生だ たところ、国学院大学にす もちろん大事だが、担任と れないが、メインは学級活 般には分かりにくいかもし った。文部科学省の教科調 て深く学びたいと思ってい くっていく学級経営につい して子どもと共に学級をつ 「特別活動」とは何か、一 るのか 課す自治体が多かった。私 試験にピアノの実技試験を 当時は小学校の教員採用

だ。小学校ではよく「お楽 る。宮川先生からは学級会 い。つまり、学級会の方法 しみ会」という催しがある。 量に任されている部分があ つとっても担任個々の力 フトテニス部で学んだこと とても救われたことを覚え つ丁寧に教えていただき、 の練習を重ねた。熱心か キャプテンを務めたソ

川ゼミナール」で学ばせて を通してどんな資質・能力 究を続けている。学級づく 画が必要だ。教員13年目に い」や「めあて」に教員の もと遊んでレクリエーショ キャリアの土台になって りの中核となる部分を「宮 なった現在も特別活動の研 を身に付けるのかという計 これも特別活動を理解して もらったと思っている。 「ねらい」を乗せ、その活動 いという子どもたちの「思 ねない。こんな活動がした ンをして終わり、となりか 大学での学びが現在の

山真琴・人間開発学部教授 たが、音楽教育が専門の高 はピアノの実技が苦手だっ 頃、髙山先生についてピア 大学1年生から2年生の 現場には多くある。緻密な 宿泊体験学習や運動会な げるという意味では、部活 いく。そういった一つの組 がらみんなの思いを乗せて ち、子どもたちとも話しな を何回も重ね、見通しを持 計画を立てた上で話し合い となって動く場面が学校の げるために教職員がチーム ど、一つの活動をつくり上 事にも非常に生きている。 一つの活動をつくり上

と同じように多様な子ども

学校という場には、社会

もたちや保護者、さらに社

現在、教員として子ど

会に対してどのような貢献

ができていると思うか

めにも教員になりたいと強

く思うようになった。

人のためではなく自分のた

実習を経て意識が変わり、

が巡り巡って自らに返って 力し、喜んでもらえること

くるという考え方だ。教育

私は、自分のために努力す

分自身も成長できるのだと

いう実感を得た。もともと

時、子どもたちと一緒に自 かった」という表情を見た 子どもたちの「できた」「分 し、工夫して行った授業で

るというより人のために努

学年や部全体で何度も話し 衝突することも多かった。 げていく役割を担うことに が新しい部の伝統を築き上 だった。スポーツ推薦の1 3年生は3人という少人数 を解決することができた。 で決めていくことで、問題 合い、共通の目標をみんな 「つなぐ」役目を心がけた。 プテンとして、部員同士を 私はチームをまとめるキャ での取り組み方と目指す方 なった。部員各自のこれま 期生として入部した私たち 性が異なり、部員同士が その時の経験は現在の仕 入部当時、2年生は1人、

子ども 共に成長する教

生 の

部

分に

寄

り

添い

員とし

7

の P

りが

教育実習の4週間は決して 教育実習で得たものは 故郷の小学校で過ごした 故郷の小学校で臨んだ

学部初等教育学科に入学し

現在4年生で横浜市の

して国学院大学の人間開発

ざ実習で子どもたちを前に 教員を目指していたが、 といった漠然とした思いで 寄り添うことができる先生 たら恩師が喜ぶだろうな_ になりたいな」「先生になっ の私は「子どもの気持ちに **忘れられない日々だ。当時**

う。また、低学年の時に 間を見られることは教員 体験をつかみ取っている だ。目の前で子どもが成 いているのだと、最近は 寄り添えたと思うことが 張っている姿を見ると、 任をした子どもが高学年 らではのやりがいだと きた」「分かった」という る。未来につながる子ど の子どもの人生の一部分 なって別の担任のもとで れしそうな表情を見る く感じる。 たちのために、自分は今 頑 に担思

児童が小学校の教員を目 間だった。当時のクラス い、子どもと一緒に学級 感じたが、子どもに寄り つくっていくことを大事 対応できるかという不安 6年生の担任をする自分 大人びており正直、初め 3年目、初めて6年生の たい。最初に勤めた学校 仕をした。彼らは驚くほ し、手探りで努力した1 エピソードを一つ紹介 年に 担 0) を 添 気持ちで教員を志してほし 助けてくれる先輩教員が必 い。ともに働く仲間が増え ずいるので、ぜひ前向きな 動いている。どの学校にも ることを願っている。 い。学校の現場はチームで

より良い学級生活をつくり ている。この環境の中で、 たちが一つの教室で生活し

これからの予測困難な社会

いることは、子どもと子ど めだ。私が一番大事にして 出すことが教員としての務

> えていく、そのような力 ていく、より良い社会に 業づくりがいずれ子ども 働が不可欠だ。その協働 げていく、人生を切り開 ちにとって生活をつくり つながると思って子ども る力を学ぶのが学校だと 日々の活動づくり、 変

> > た。かつての教え子が担任 教員採用試験にも合格し

ちと接している。 「小学校の先生にな

て良かった」と思う瞬間 やはり子どもたちの「 そして今度は同じ横浜市の 教員として同僚になる。こ であった私に憧れて教員を れもまた私には運命的な出 志望し、大学の後輩になり、

輩たちにアドバイスを 最後に教員を目指す後

程で、 調に進むとは限らない。子 任の教員も、10年から20年 日々がある一方で、子ども 教員が経験年数の浅い教員 どもと向き合い取り組む過 識があっても、必ずしも順 い」という言葉。経験や知 抱える悩みに大きな差はな の経験豊富な教員も、日々 長が自らに返ってくる。か 多く、人としての大きな成 ちのために努力を重ねる 近で感じられる本当にやり から教えてもらうことも多 心に残っていることが「初 つて先輩の教員に言われて から学ばせてもらうことも がいのある仕事。子どもた 教員は子どもの成長を間 むしろ経験を積んだ



たことだと見る。特別活動には教科書がない。つまり、学級会の方法一つとっても担任個々の力量に任されている部分がある。宮川先生からは学級会の在り方を徹底的に学んだ。小学校ではよく「お楽だ。小学校ではよく「お楽しみ会」という催しがある。

Interview

國學院 大學学狼

・サーバーリー・サーバー ・サーバー ・サー

入部当時、2年生は1人、3年生は3人という少人数3年生は3人という少人数だった。スポーツ推薦の1だった。スポームを発き上げていく役割を担うことになった。部員各自のこれまでの取り組み方と目指す方向性が異なり、部員各自のこれまで決めていくことで、部員同士が高い、共通の目標をみんなを解決することができた。その時の経験は現在の仕を解決することができた。だ、一つの活動をつくり上げるために教職員がチームとなって動く場面が学校の現場には多くある。緻密など、一つの活動をつくり上げるために教職員がチームとなってからから表して、部員同士を何回も重ね、見通しを持ち、子どもたちとも話しないく。そういった一つの活動をつくり上げるという意味では、部活しないく。そういった一つの活動をつくり上げるという意味では、部活しないく。そういった一つの組密など、一つの活動をつくり上げるという意味では、部活しないく。そういった一つの組密など、一つの活動をつくり上がらみんなの思いを乗せている。で決めている。となってからとも話しながらみんなの思いを乗せていく。そういった一つの組密など、一つの活動をつくり上がるという意味では、部活により、

より良い社会に 変えていく

とは何か、一

大学生活での学ぶ

C,

が教員人生の

土台に

、部活での実践



横浜市立上寺尾小学校 5年2組担任 渡瀬将二郎さん (平25卒・121期初教)

Profile

開発学部初等教育学科に第1期生としてスポーツ推薦入試(ソ フトテニス部)で入学。「よこはま教師塾アイ・カレッジ」の 市立川上北小学校、横浜市立綱島小学校を経て、令和7年度か ら現在の学校で勤務。

わたせ・しょうじろう

静岡県富士市出身。静岡県立富士宮北高校でソフトテニス部 の主将を務め、春の全国高校選抜大会、夏の全国高校総体(イ ンターハイ) に出場。平成21 (2009) 年、国学院大学人間 第1期生として特別選考枠で教員採用試験を受けて合格。横浜



と考えたのか。なぜ国学院大学で学ぼ度、第1期生で飛び込ん度、第1期生で飛び込ん

理命的な出会いだった。 運命的な出会いだった。 学生の声を大切にしても らったという記憶も鮮明に だが、例えば実際に表育現 など、大学として一人一人 の学生にとことん寄り添った。 など、大学として一人一人 でもらえたことがありがた かった。 実際に見てみたいという記憶も鮮明に 大学後1年間の学びを探してくれる 大学後1年間の学びを紹介したのは 人学後1年間の学びを紹介したが、思い切りれただいた。当時はまだ でいただいた。当時はまだ を投業の補助、宿泊体験学部などに取り組ん での引率などに取り組ん

展示が 性方との出会いをきっかけに「横浜市の大勢の熱心な先と考えるようになり、大学と考えるようになり、大学る「よこはま教師塾アイ・カレッジ」に第1期生として入塾した。横浜市の目指す教育とは何かをしっかりと学べ、同じ横浜市の割員と学べ、同じ横浜市の割員と学べ、同じ横浜市の割員と学べ、同じ横浜市の割員と学べ、同じ横浜市の割員と学べ、同じ横浜市の割りと学べ、同じ横浜市の割りとさい心強く、大学で学び合った同期とはまた違う大

院友とのつながりから生まれる活力

現在の勤務校では5年生の学年主任を務める多忙な毎日の傍ら、渡瀬さん は本学を卒業した横浜市の教員で組織する「横浜市学校院友会」の副会長職

を担う。院友名簿や会費の管理のほか、毎年開かれる総会と懇親会の運営が

「横浜市の学校に関わる院友の仲間がこんなにたくさんいるのだという力 強さを感じる。自分が小学生の頃から先生をしている先輩方の話はとても心 に刺さる。一方で新規採用になった皆さんも毎年、総会にあいさつに来てく れるので、ともに頑張っていこうという一体感が生まれる。同じ大学で学ん

だ人と人とのつながりを感じ、自分自身も活力をいただいている」と渡瀬さ

んは会の要職を務めることのやりがいを語る。

つ た本学

と考えたきっかけは 静岡県富士市の小学校名 年生の時に担任教員と出会 中生の時に担任教員と出会 ったことが、大きなきっか けとなった。とても熱心な けとなった。とても熱心な 先生で、子どもを大切にし で、勉強もテニスの練習 が毎日19時から21時まであ 的大変だったが、いつも気 にかけてくださり、たくさ にかけてくださり、たくさ にかけてくださり、たくさ にかけてくださり、たくさ にかけてくださり、たくさ にかけてくださり、たくさ にかけてくださり、たくさ た。「小学校の先生になりた させてくれた私にとっての させてくれた私にとっての させてくれた私にとっての

だ。子どもたちと関わり、 大学生ながら「先生」と見られることで、教員としてられることで、教員として 個く現場の実感に触れた。 ――あえて学外にまで学び の場を求めていったのはな が 教職の世界でよく言われることだが、20年から30年 での新任教員も、大学を卒業したての新任教員も、大学を卒業したてのような世界に入っていくことを考えると、怖さがあった。いち早く、教員の仕事を実際に見て学びたいと思った。

みんなで増やそう 成果のキラキラ

を目

ملح

て

出会す

的



主要な仕事だ。

普及 し分 てに

P

がい

成も 長の 人生の لح

働が不可欠だ。その協働する力を学ぶのが学校だと思う。日々の活動づくり、没 だことって生活をつくりと だことのために、自分は今になって別の担任のもとではのやりがいだと思う。また、低学年の時で子どもが成功がでいる。 「一「小学校の先生になった」といううされしそうな表情を見られることは教員ないでいる。また、低学年の時で子どもが成功が応じたが、子どもの人生の一部分になっており正直、初めても年生の担任をした。最初に勤めたと思うことがある。未来につながると思って子どもが成功ですどもがよりがができるかというできるが、子どもの人生の一部分になっており正直、初めても年生の担任をしたが、子どもと一緒に学級をし、手探りで努力したとで頑関だった。当時のクラスの担間でった。当時のクラスの担任のもとで頑重が小学校の教員を目指をした。方にというで努力した1年にある。 よ 働 も あ に そ 頑 に 担 思 な 瞬 功 時 う で **は っ**

て国学院大学 であった私! であった私!

には運命的な出の僚になる。これには同じ横浜市の

渡瀬さんが担任を務める5年2組の教室に 掲げられている掲示物。授業や行事などク ラスのみんなで頑張って成果が上がると、 金色の「キラキラ」が増えていく





指の年にを添をがてど担のし

今後の展開に向けた有益な議論が交わされ

され、在学生、教員、学外の賛助会員ら約9月27日、たまプラーザキャンパスで開催

国学院大学人間開発学会の第17回大会が

人間開発学会第17回大会

研究成果と知見を共有



ばしく思う」とあいさつ。 第1部で行われた学生の四つの発表の中か 実演を交え会場を盛り上げた。第4部では、 熟達保育者の比較」を実施し、手遊び歌 る子どもの夢中度の違い:熟達保育者と非 科助教が記念講演「手遊び歌実演方法によ われた。受賞した中野圭祐・子ども支援学 院大学人間開発学会研究奨励賞の表彰が行 成果を報告。第3部では、令和6年度国学 擬授業の在り方」と題し、学部共同研究の された=写真。 本大会が今後も人間開発学の発展に寄与

体育学科教授が、「教員養成課程における模 理・初等教育学科教授と、大矢隆二・健康 された。第2部では、研究代表者の長田恵 スポーツ科学分野を中心とした研究が発表 な研究成果が披露され、学生からは、健康・ 生たちに参加いただいていることは大変喜 多く研究発表のエントリーがあり、 発表4演題と教員ら3演題の計七つの多様 第1部の研究発表では、学生会員による

お月見祭を開催 学生部企画



想像していたよりも重かったので驚 業終わりの学生たちが堪能していたての餅が振る舞われ、参加者や授 杵を持ち上げ、掛け声とともに力強に参加。参加した学生たちは順番に ぬきびだんごを配る予定だったが、 同好会カノープスの協力のもと、 きく見えるスーパームーンを、天文 しかった」と笑顔を見せた。 と話し、「自分でついた餅は特別お てだったのでいい思い出になった」 た。餅つきに参加した学生は「杵が く餅をついていた。試食会ではつき 着順で15人の学生たちが餅つき体験 **=写真=**と、試食会が行われた。 ごを受け取り、「月見」の風習を楽し あいにくの空模様で、「月見」は中止 体望遠鏡を使用して鑑賞し、先着 Ⅰ00人限定で「月見」だんごなら 午後6時から、月が一年で最も大 自分で餅つきをしたのは初め 天

祈る「月見」にちなみ、 ることを目的に学生イベント企画リ くからの日本の風習を体験し、季節 る。今年は400人を超える学生が の移ろいや文化の背景に思いをはせ ダー 一日に渋谷キャンパスで開催された。 昼休みの時間帯には、餅つき体験 この催しは収穫への感謝と豊穣を 学生部が企画するお月見祭が10月 が運営を担当して開催して

トイン|フ|ォ|ダ|イ|ジ|ェ

…保証人

₩ 卒業生

内令和7年度学費等納付金(後期)口座振替日は、11

月26日(水)です。詳細は、10月下旬に発送した「学費

令和7年度学費等納付金について

内内容 闘講師 日日にち 時時間 場場所 対対象 定定員 料料金 申申し込み 問問い合わせ

大学からのお知らせ

「指定寄付金」ご協力のお願い

内学校法人国学院大学では、私学としての公共性と独 自性のある教育研究体制を確立するため、広く寄付 を募っています。寄付の種類は、「学生・生徒等の奨 学基金」「学生・生徒等の活動支援」「教育・研究振 興支援」「施設・設備充実支援」の四つに加え、学生 の課外活動を支援するための「課外活動支援(スポ ーツ強化部会など)」や「メッセージ募金」を設けて います。「メッセージ募金」は、スポーツ活動や課外 活動などに熱心に取り組む学生に向けて、HP上か らメッセージを直接投稿してもらう仕組み。ワンコ イン(500円)から寄付が可能で、メッセージはそ のまま専用HPに公開されます (匿名可)。

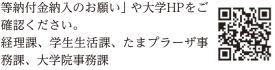
申専用用紙またはインターネットでのクレジットカ ド決済が可能です。

固総務課(☎03・5466・0111)

※本法人への指定寄付金は税制上の優遇 措置を受けることができます。募金に 関する情報は専用HP (二次元コード) で閲覧できます。



固経理課、学生生活課、たまプラーザ事



務課、大学院事務課

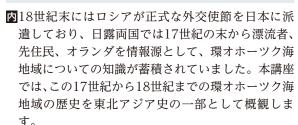
キャリアサポート

イベント

30

回然然回

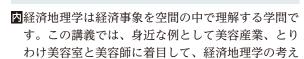
令和7年度 オンライン公開講座① 「日露関係の前史 17世紀から18世紀 までの環オホーツク海地域の歴史」



- 講神長英輔 (国学院大学文学部教授)
- ■配信中~12月31日(水)
- 料1,500円(1回60分)
- 申12月24日(水)まで。専用HP (**二次元コ ード**) から申し込み



令和7年度 オンライン公開講座② 「美容産業と都市 美容師はどのように 都市空間を動くのか 経済地理学入門」



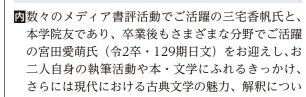
方を紹介します。

講山本健太(国学院大学経済学部教授)

- ■配信中~12月31日(水)
- 料1,500円(1回60分)
- **申**12月24日(水)まで。専用HP(**二次元コ ード**)から申し込み
- 問エクステンションセンター(☎03・5466・0270、 ⊠jigyou@kokugakuin.ac.jp)

令和7年度 文化講演会

-古典文学か 「ことばの灯をつなぐ― ら紐解く首と今」



■11月15日生)14時~15時30分

て見つめ直します。

- 場渋谷キャンパス常磐松ホール
- 定280人
- 料無料

申11月7日儉まで。本学HP(**二次元 ド**) から申し込み

問エクステンションセンター(☎03・5466・0270、 ⊠jigyou@kokugakuin.ac.jp)



※詳細確認・申し込みはK-SMAPYⅡから行ってください

模擬面接指導会

- 内採用選考の面接では、フィードバックがないた め、どこが良くてどこが悪かったかが分からず、 同じ過ちを繰り返してしまう危険性があります。 本指導会は企業の採用担当者を招いて、実践的な アドバイスがもらえる貴重な機会です。面接力強 化のために積極的に参加しましょう。
- ■11月19日(水)13時30分~17時15分
- 对3年生、博前1年次

SPI非言語対策講座

- 内筆記試験は、頻出分野の問題を確実に解けるよ うになることが選考突破に向けたポイントとな ります。本講座ではレベル別に1日で広範囲を 一気に学習し、誰でも簡単に答えが出せる解き 方を解説します。
- ■11月8日仕)、22日仕)
- 对2~3年生、博前1年次

合同企業セミナー

- 内10月から開催している合同企業セミナーはこ の5日間で終了です。15社出席を目標に参加し ましょう。
- ■10月22日(水)、29日(水)、11月12日(水)、26日(水)、 12月3日(水)
- 対1~3年生、博前1年次

過程をうかがった。

II

幼い頃から家族と共に旅先で豊かな自然を楽し み、旅が大好きになった山野井さん。国学院大学観 光まちづくり学部の【地域を見つめ 地域を動かす】 とのキャッチコピーに引かれて入学した。最初に印 象に残った学びは、2年生で参加したインターンシ ップだ。夏に新潟県の一之貝集落を訪れたことをき っかけに地域の方々と親しくなり、継続して訪問す るようになった。冬には、淡路島の洲本にて、地域 おこし協力隊と一緒に空き家の改修やイベントの手 伝いをした。大手の開発とは違う、個性ある空き家 活用の取り組みは、まちづくりについて考える転機 になった。3年生の夏には沖縄の国頭村に滞在し、 地域のために働く人々の情熱に感銘を受けた。

さらに国境をも越えて、世界は広がっていく。2 年生のスタディツアーのタイ訪問が初の海外。心配 性の性格を克服しようと一人でラオスにも出かけ た。その後ゼミでカンボジアとベトナムに滞在する と、もう慣れたもので、インドにも一人旅をした。

訪れた先々で、人々の優しさや地域に対する思い に触れ、多くの学びや気づきがあった。特に「自分 とは違う価値観や目標を持っている人たちと出会う ことで、将来の選択肢が広がり、新たな自己発見も できる。これこそが旅だと考えるようになりました」 と語る。

数々の経験を重ねた3年生の3月、大学職員の紹介 で高輪ゲートウェイシティのまちづくりに関わるこ とになる。

「令和7 (2025) 年3月に開業した高輪ゲートウェ イシティは国内最大級のまちづくりプロジェクト で、私はその中のオープンスペース『Gateway Studio』でコミュニケーターをしています。ここは 皆さんの"やりたいこと"の種を育む畑のような場 所。誰かの"やりたいこと"は、誰にとっても"良いこ と"につながる、という思いのもと、ここでの活動全 体を"TAKANAWA GOOD"と呼んでいます。来場 者の"やりたいこと"を実現する筋道を一緒に考える ことが、コミュニケーターの主な仕事です|

"やりたいこと"は"WISH"と呼び、WISHカードに 書いて他の来場者とシェア。それを見て共感する人 が集まったグループは"BEANS"と呼ばれ、小さな部 活動のような存在として活動している。山野井さん もBEANSを持っているそうだ。

「私は一人居酒屋が好きで、高輪のおすすめの居酒 屋を紹介してほしいというWISHカードを掲示した

ところ、地図を作りたいというWISHの方がいて、二 人のWISHを掛け合わせて"高輪ご近所BEANS"が出 来上がりました。いずれは、来場の方々にもBEANSを つくっていただけたらと思いながら活動しています」

しかし、オープンスペースであるがゆえに、休憩 するだけ、展示されている模型を見学するだけの人 が多いのが実情という。「ここに来れば誰かがいて 話もできる。人と人がつながっていける場になって ほしい」と工夫もしている。

「絵しりとりを試みてみました。すると、初対面で 何も会話の種がなくても自然と話が広がるのです。 『待ち合わせで来たのに、楽しかった』と言ってくだ さる方もいて。そういった関係性の積み重ねで、こ の場所を使ってみようかなと思ってくれる人が増え ていくのではないかと期待しています」

目を輝かせて話すその様子からは、山野井さんが 人と関わることを心から楽しんでいることが伝わっ てくる。「観光まちづくり学部で学んだことで、予想 もしていなかった経験がたくさんできました。将来 は人に関わりながら新たな価値を生み出す仕事がし たいです」と笑顔で語る山野井さん。その笑顔は、 誰をも明るく元気にするすてきな力を持っている。

インタビューの詳細は「国学院大学メディア」で公開予定



東都大学野球 秋季リーグ戦開幕 第3週を終えて勝ち点2で終盤戦へ

東都大学野球秋季リーグ戦が9月16日、ジャイア ンツタウンスタジアム (東京都稲城市) で開幕した。 国学院大学硬式野球部は第3週までを終え、勝ち点2 を獲得し、終盤戦に臨む。

第1週は青山学院大学と対戦。2試合とも打線が 振るわず、初戦を1-2、2戦目を0-2で落とし、黒星 スタートとなった。流れを変えたい第2週は東洋大 学と対戦し、9月24日の第1戦は、五回裏に主砲の 渡辺嶺選手(健体4)がソロ本塁打を放ち先制した ものの、逆転を許す苦しい展開となった。九回裏に は緒方漣選手(健体2)が起死回生のソロ本塁打を 放ち土壇場で同点に追いつき、試合は延長タイブレ ークへ突入した。十回裏に落合俊介選手(法4)が 決勝タイムリーヒットを決め、劇的なサヨナラ勝ち で初戦をものにした。翌日の第2戦も延長タイブレ

ークにもつれ込む熱戦となったが、十回表に連打と 相手のミスで一挙4点を奪取し、5-2で勝利。見事勝 ち点1を獲得した。

第3週は中央大学と対戦。10月7日の第1戦は、三 回表に田井志門選手(健体3)が三塁打を放ち、無 死三塁とすると、続く赤堀颯選手(経営3)の適時 打で先制した。投げては、先発の當山渚投手(経営 4)が9回を無失点に抑える快投で勝利を収めた。翌 日の第2戦は、一回裏に先制点を許す展開になった が、二回表に3点を奪い逆転。五回表には落合選手 のソロ本塁打が飛び出すなど打線が機能し、七回表 にも3点を加え7-1と快勝した。

この第3週を終え、国学院大学は勝ち点2を獲得。 確かなチーム力を発揮し、上位を目指してリーグ戦 終盤に挑む。

ソフトテニス部

令和7年度全日本学生選手権大会(第79回文部科 学大臣杯全日本大学対抗ソフトテニス選手権大会、 第80回三笠宮賜杯全日本学生ソフトテニス選手権 大会〈ダブルス〉、第67回全日本学生ソフトテニス シングルス選手権大会)が8月29日から9月3日ま で、千葉県総合スポーツセンター庭球場(千葉市稲 毛区)などで開催された。国学院大学ソフトテニス 部女子は、大学対抗戦、シングルスで3位入賞とい う輝かしい戦績を収めた。

女子の大学対抗戦では、濱島怜奈選手(初教4)・ 鈴木叶選手(中文3)、寺澤佑珠妃選手(日文4)・高 嶺心萌選手(中文4)、鈴木心菜選手(子支4)・庭田

女子ソフトテニス部 団体・個人で躍進

咲月選手(神文1)の3ペアが出場し、粘り強さを武 器に試合を優位に進め、準決勝へと進出した。準決 勝では、前回優勝校である日本体育大学と対戦。ど の対戦も一進一退の攻防となり、選手たちは全力を 尽くしたが、0-3で敗戦し、3位入賞となった。

シングルスでは、庭田選手が初出場ながら、並み 居る選手を次々と倒し、準決勝へと進出。準決勝で はこの大会で最終的に優勝した選手に敗れたもの の、見事3位入賞を果たした。

今回の結果は、日ごろの厳しい練習の成果であり、 今後のさらなる飛躍とリーグ戦での活躍が期待され



団体3位入賞を果たした選手たち

K:DNA --- 創立143年を迎えた国学院大学の遺伝子…個人・個性を尊重する校風 若いエネルギーが未来を変える

柔道部

荒川選手 世界ジュニア 個人銀、混合団体金

国内大会でも3選手が入賞



2025年世界ジュニア柔道選手権大会が10月5日 から8日にかけてリマ(ペルー)で開催され、国学 院大学柔道部の荒川琉生選手(健体1)が男子73kg 級の日本代表として出場し、銀メダルに輝いた。

この大会は、国際柔道連盟が毎年(オリンピック 開催年除く) 開催している15歳以上21歳未満の選 手の世界一を争う大会。6日に行われた男子73kg級 には、31カ国から41選手が参加した。荒川選手は1 回戦、2回戦ともに一本勝ちを決めるなど、安定し た試合運びで順調に勝ち進んだ。3回戦は相手選手 の反則で勝利し、準々決勝、準決勝は一本で勝ち上 がり、決勝に進出した。決勝ではタジキスタン代表 に惜しくも敗れたが、世界の舞台で堂々たる戦いぶ りを見せ、銀メダルに輝いた。

荒川選手は、8日に行われた男女混合団体にも出 場し、日本チームの金メダル獲得に貢献した。準決 勝のブラジル戦では2番手で出場し後袈裟固めによ る一本勝ちを決め、チームとしても4-0で勝利した。 迎えた決勝のフランス戦では1番手で出場し敗れた ものの、その後に続く選手が4連勝し、日本チーム は優勝を果たした。

ほかにも、2025年度全日本ジュニア柔道体重別 選手権大会が9月13、14日の両日、リプロ武道館 (埼玉県上尾市)で開かれた。国学院大学柔道部から は、60kg級で吉村悠之介選手(健体1)、66kg級で 大柿将馬選手(法1)が、それぞれ3位入賞を果たし た。両選手は安定した組み手と粘り強い試合運びで 実力を発揮し、順調に勝ち進んだ。3回戦で惜しく も敗れたが、敗者復活戦を勝ち抜き、堂々の3位と

また、9月27、28日には、体重別の学生日本一を 決める2025年度全日本学生柔道体重別選手権大会 が日本武道館(東京都千代田区)で開催された。 60kg級に出場した宮部真臣選手(観まち4)が準優 勝の活躍を見せた。宮部選手は初戦、2回戦をとも に一本勝ちで勢いに乗り、決勝まで進出。決勝では、 天理大学の横井蓮選手に大外刈りで有効を取られ惜 しくも敗れたが、結果を残した。

陸上競技部

出雲駅伝で2年連続優勝

通算3度目の栄冠をつかみ、3冠へ視界良好

大学駅伝シーズンの開幕戦となる第37回出雲全 日本大学選抜駅伝競走が10月13日、出雲大社(島 根県出雲市)正面鳥居前から出雲ドーム前を結ぶ全 6区間45.1%のコースで開催され、国学院大学陸上 競技部は大会2連覇を達成、通算3度目の優勝を飾っ

気温26度、湿度60%を超えるコンディションの 中、選手たちは出雲路を懸命に駆け抜けた。1区の 青木瑠郁選手(健体4)はスピードランナーがそろ う集団の後方から冷静にレースを進め、終盤には一 時先頭に立つ積極的な走りを見せ、2区の尾熊迅斗 選手(健体2)へ5位で襷をつないだ。尾熊選手はス ピードを生かし、追い上げを図る他校の選手をかわ しながら粘りの走りで順位を維持した。3区の野中 恒亨選手(健体3)は各校のエース級や外国人留学 生が配置される重要区間で、彼らと互角に渡り合う 力強い走りを見せ、チーム順位を2位まで押し上げ、 トップとの差を詰めた。流れを決定づけたのは4区 の辻原輝選手(史3)。先頭を走っていた早稲田大学 の選手をかわすと、そのまま独走態勢を築き、後続 に一切つけ入る隙を与えない区間新記録の快走を披 露。この区間で2位以下を大きく引き離した。5区の 高山豪起選手(法4)も小刻みなアップダウンが続 く難関区間をものともせず、さらに2位との差を広 げ、最終6区の上原琉翔主将(健体4)へ襷を託し た。上原主将は、早稲田大学の追い上げを受けなが らも、チームメートからの声掛けや、沿道の声援を

力に変え、最後までペースを落とさずに ゴール。2位に38秒差をつける圧倒的 な勝利で2連覇を達成した。

優勝にあたり、前田康弘監督は「選手 たちが見事に期待に応えてくれた。混戦 を予想していたが、国学院らしさを出し て優勝することができた。次の全日本、 箱根駅伝も優勝を目指していく」と今後 の意気込みを語った。上原主将も「前を 走った5人に感謝している。キャプテン としてみんなに伸び伸びやらせてあげ たことで、チームとして成長することが できた」と笑顔を見せた。

本学は2年連続でシーズン初戦を制し、駅伝3冠へ 向け好調なスタートを切った。11月2日には、秩父 橋前(三重県伊勢市)をつなぐ全8区間106.8%の 宮賜杯第57回全日本大学駅伝対校選手権大会が熱



ルテープを切る上原主将

総合成績(8位入営まで)

心口が傾(0位八貝より)							
順位	大学名	総合成績					
1	国学院大学	2時間9分12秒					
2	早稲田大学	2時間9分50秒					
3	創価大学	2時間10分5秒					
4	アイビーリーグ選抜	2時間10分12秒					
5	駒沢大学	2時間10分27秒					
6	城西大学	2時間10分41秒					
7	青山学院大学	2時間10分52秒					
8	帝京大学	2時間11分32秒					

田神宮西門前(名古屋市)から伊勢神宮・内宮宇治 コースで開催される。

個人成績

区間	氏	名	所属・学年	タイム	区間順位	総合順位		
1区	青木	瑠郁	健体4	23分42秒	5位	5位		
2区	尾熊	迅斗	健体2	16分30秒	6位	5位		
3区	野中	恒亨	健体3	23分49秒	2位	2位		
4区	辻原	輝	史3	17分20秒 (区間新記録)	1位	1位		
5区	高山	豪起	法4	17分58秒	2位	1位		
6区	上原	琉翔	健体4	29分53秒	4位	1位		